

## 生長の家のアウトドア・スクーリングで森林整備支援

例年、生長の家では、こども達の夏休みに合わせて、地球環境問題を肌で感じてもらうために、常呂川森林ふれあい推進センターに森林整備等の活動を希望され、その支援を行っております。

今年は8月3日(土)に、大人を含めて23名が参加しました。今回の作業は、過去3回植栽した箇所の草刈り及び獣害防止のための防護シート等の補修を午前中、行いました。

最初に、作業現地でふれあいセンター職員による補修のデモンストレーションの後、4つの班に分かれて作業を行いました。なお、今回は樹高が1m以上になっている植栽木があれば、防護シートを取り外すこととし、また、自立できない植栽木については添え木をすることとしました。各班、大人とこどもが連携して、予定した箇所をすべて実施することができました。



(添え木をしている様子)



(シート等の補修の様子)

その後、午後からは森林散策ということで、大人のグループとこどものグループに分かれて、「森の家」の裏山を散策しました。

こどものグループでは途中、クワの実をたくさん食べることができ、また、セミの抜け殻もたくさん見つけることができたため、たいへん満足している様子でした。

一方、大人のグループでもエゾニワトコの実などの食味を体験し、まだ熟すのに時間があつたため、酸っぱい味でしたが堪能することができました。



(クワの実を採っている様子)

今年の夏は異常気象なのか、北見地方は雨が少なく、おかげで外でのイベントは雨に当たらず順調に実施できています。

8月はこれで一区切りですが、これから、秋に向けても様々な形でイベントが用意されていますので、当ふれあいセンターのホームページを見ていただき、一般募集案内のイベントがあれば、奮って応募していただきますようお願いいたします。



(今回、参加されました皆さま)